

人が動く、国土が躍動する。
国土交通省



みなと しみず

発行

中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所
下田港事務所

佐藤事務所長 着任あいさつ

8月1日付けで清水港湾事務所長に着任しました佐藤です。中部地方整備局管内は初めての勤務ですので、不慣れな部分でご迷惑をおかけするかもしれませんが、私自身としてはこれから多くの方々や地域に出会う機会に恵まれたことに喜びと期待感を抱いているところですので、皆様よろしくお願ひいたします。

清水に着いて、仕事柄まずは「みなと」を一目見ようということでマリパーク周辺をひと歩きました。やはり富士山を借景とする清水港の美しさは印象的であり、早くも「冠雪の富士ならばさぞかし・・・」とこれからの季節を心待ちにしているところです。

清水に赴任する前は、横浜市港湾局に出向し管理者（地方自治体）の立場から港湾に携わることが出来ました。横浜は「みなと」が「まち」の発展を牽引した典型的な都市ですので、わずか2年足らずの勤務ではありましたが、都市経営の観点からの「みなと」の重要性も実感することが出来たと思っています。

「我が日の本は島国よ～あらゆる国より舟こそ通え さらば港の数多かれど～」とは横浜市歌の一部で、最後には「飾る宝も入りくる港」で終わっています。そのとおり静岡県にも多くの「みなとまち」があり、各「みなと」はそれぞれの地域にとっての「宝も入りくる港」として経済・産業活動に大きく貢献しています。

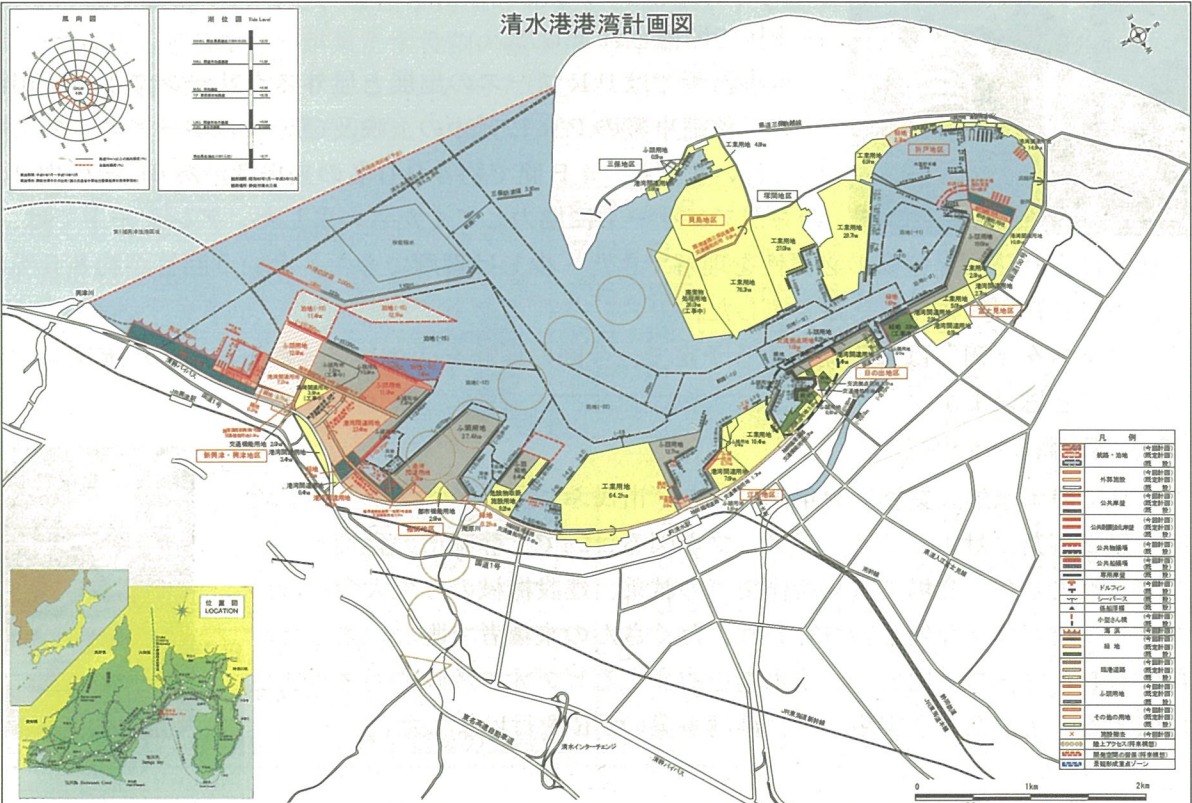
静岡県の各「みなと」が引き続き十分な責を果たし、「みなと」と「まち」が相互に発展して行けるよう、そして多くの人から愛される「みなと」となるよう、関係各位のご理解とご協力をいただきながら、魅力ある「みなと」づくりに力を尽くしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



〈佐藤敬 所長〉

◆ 清水港港湾計画の改訂が行われました

平成16年7月9日開催の国土交通省交通政策審議会港湾分科会において、清水港港湾管理者（静岡県）提出の清水港港湾計画書改訂案が諮られ、平成16年7月30日静岡県公報（第1594号）に公告されました。



改訂の目標年次は平成20年代後半とし、以下のように方針を定めました。

- ①企業の生産活動を支援し、国内外市場での競争力を向上させるため、国際海上コンテナ取扱機能の拡充・強化を図る。
- ②既設ふ頭の再編、利用転換を図りつつ、清水港の物流、生産、交流、生活機能の適正な配置を行い、ふ頭の効率性、利便性、安全性の向上を図る。
- ③高規格幹線道路との円滑なアクセスを確保するため、主要幹線道路との連携に配慮しつつ、臨港道路体系の強化を図る。
- ④港内における船舶や漁船の安全な航行と停泊の確保を図る。
- ⑤交流拠点の形成に向け、旅客船ターミナルと西伊豆を結ぶフェリーターミナル機能の拡充を図る。
- ⑥地震などの災害発生後の避難者対策や、背後地を防護するためのセーフティ機能の確保、緊急物資の輸送路の確保、さらには経済活動を維持するため、防災機能の強化を図る。
- ⑦人々が気軽に訪れ、港や海に接することのできる親水空間の確保や、海洋レクリエーション拠点の形成を図る。

◆「海の日」記念式典

7月21日「海の日」記念式典が清水日の出センターにおいて行われ、式典の中で海事功労者に対して贈られる中部地方整備局長表彰(当事務所関係)及び平成16年度優良工事表彰者の関係協力会社に贈られる事務所長感謝状が授与されました。

【清水港湾事務所長表彰】

★事務所長感謝状★

八光建設工業株式会社、大港建設工業株式会社
興生建設株式会社、三益建設株式会社、有限会社伊豆海洋

【中部地方整備局長表彰】

★港湾空港関係功労者表彰★

前御前崎町長 吉村 権財茂 氏

★永年勤続功労者表彰★

有限会社サダ海洋土木 坂口 和弘 氏

★海をきれいにするための 一般協力者の奉仕活動表彰★

大井川町立大井川中学校
熱海ビーチクリーン実行委員会

◆マリノフェスタ下田



7月15日～18日にかけて、下田市にある道の駅「開国下田みなと」において第1回「マリノフェスタ下田」が下田青年会議所主催、当事務所後援で開催されました。

当事務所ではPRブースの出展と屋外スクリーンによる下田港外港防波堤整備事業のPRビデオの上映及びディズニーアニメの上映も同時に行いました。4日間で約400名の来場者があり、その内277名の方がアンケートに協力してくださいました。アンケートでは、『PRブースの展示により防波堤整備の必要性を理解できた・少しは理解できた』という回答が約85%にのぼり、あらためてPRの重要性を認識しました。

“マリノフェスタ下田”は毎年開催する予定で、今回の経験を活かして、さらに内容の充実を図り、協力していきたいと思えます。

◆市民ふれあいイベント

7月18日に静岡県建設業協会青年部主催の“市民ふれあいイベント”が建設行政のPRや建設事業に対するイメージアップを図る目的で、静岡市の青葉イベント広場で開催されました。会場では高所作業車の試乗、建設機械の写生大会のほか、スタンプラリーなど様々な催し物が行われ、たくさんの来場者で賑わいました。

当事務所もPRブースを出展し、清水港を紹介するビデオの放映やパネル展示、清水港に関するクイズなどを実施して、港湾事業のPRを行いました。



◆ 下田ネイチャースクール



7月23日～25日下田市田牛(とうじ)地区において、小学校5、6年生を対象とした“ネイチャースクール(海辺の自然学校)”が開催されました。

静岡県下田市は、今年が日米和親条約による下田開港150周年にあたることから、開港150周年記念事業実行委員会を設けて、市内でさまざまな記念イベントを催していますが、その記念イベントの一環として行われました。

海辺の自然観察体験を通じて海洋環境学習を行うもので、スノーケリングで海の生き物の観察を行ったり、図鑑を手に生物の名前を調べたりと、あっという間に充実した3日間が終了しました。



このイベントは昨年度、当事務所が下田市田牛地区で開催した「海辺の自然学校」に続いて行われたもので、今後も下田市の主催で毎年開催される予定です。

◆ 第57回 清水みなと祭り



7月30日～8月1日に清水港周辺で“第57回清水みなと祭り”と共に“清水マリンフェスティバル”、また清水港開港150周年記念として“駿河湾マリンフェスタ04”が開催され、護衛艦の一般公開や海上花火など様々なイベントが行われました。

毎年、清水みなと祭りのなかで一番の盛り上がりを見せる「港かつぼれ」総踊りには、昨年引き続き当事務所も参加し、約1万人の市民の皆さんと一緒に踊り歩きました。

◆ 御前崎ふれあい映画会

8月7日にマリパーク御前崎で“ふれあい映画会”を開催しました。この映画会は港湾工事のイメージアップのために毎年行っているもので、今年で5回目になりますが、野外ならではの開放感と爽快感が味わえるため、毎年好評を頂いています。

御前崎港の多目的国際ターミナル(-14m岸壁)建設を紹介するビデオの放映及び御前崎港で行っている当事務所の事業をわかりやすく説明したパネルを展示し、『みなと』が果たす役割の重要性を理解していただきました。

今年は台風の影響で順延になりましたが、約700名の参加者で賑わい、参加された親子からは「楽しかった。来年も是非。」と多数の反響を頂き、大盛況のなか閉会しました。



◆ みなとづくり見学会

みなとづくり見学会とは、地域コミュニケーション(広報広聴)活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、地域の皆さんに広く、『みなと』の果たす役割を理解してもらうために行っています。



6月14日	御前崎市総合開発計画策定特別委員会
7月2日	静岡県立静岡北養護学校 清水分校
7月28日	御前崎市みなと公民館
8月1日	国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会
8月7日	静岡市教育センター(清水)
(黒字：清水港実施、青字：御前崎港実施)	

◆ 事務所管内の主な動き

7.1	「海の日」モデル地区認定記念式典	7.27	静岡県港湾振興会総会
7.15～18	第1回マリンフェスタ下田	7.30～8.1	第57回清水みなと祭り
7.18	市民ふれあいイベント	7.31～8.1	日本ジュニアヨットクラブ競技会
7.21	「海の日」記念式典	8.7	御前崎ふれあい映画会
7.23～25	下田ネイチャースクール	8.15	大井川港トーロン祭り
7.26	日本の港を考える若手議員の会視察	9.2	清水港FAZ事業推進協議会総会

ベエズを探せ!!!

清水港ミステリー・オリエンテーリング参加者募集

清水港湾事務所のイメージキャラクター「ベエズ」が行方不明になった。誰かに誘拐されたらしい。…そんなニュースが流れた翌朝、犯人からと思われる挑戦状が届いた。

『ベエズの居場所を見つけてみる』
という内容だった。犯人は「ベエズ」の居場所を次々と変えている。そして、大胆にも次の居場所を暗示する挑戦状を残していく。「ベエズ」は一体どこにいるのか。犯人は誰か。

「ベエズ」を探しだせるのは君しかいない!!



【ベエズ】
駿河湾の海底で生まれた謎の生き物。清水港のことならなんでも知っている。

検索日時	平成16年11月14日(日) 午前8時30分集合(4回にわけて出発します。)
検索場所	清水港周辺
検索方法	徒歩及び公共交通機関を利用して検索します。
参加費	無料 * 移動にかかる運賃(千円程度)、昼食代等は個人負担となります。 * イベント保険は主催者が加入します。
応募資格	どなたでも応募できますが、小学生以下は保護者同伴とします。
募集人数	320名・抽選 * 当選者にはこちらからお知らせします。
集合場所	国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所
申込方法	はがき、FAX、Eメールのいずれかの方法で参加者全員の①郵便番号、②住所、③氏名、④生年月日、⑤電話番号を明記の上、平成16年10月18日(必着)までに送ってください。
申込先 及び 問合せ先	〒424-0922 静岡市清水日の出町7-2 清水港湾事務所内「ミステリー」係 TEL: 0543-52-4146 / FAX: 0543-53-3072 Eメール: shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp ***** ホームページも見てね ***** http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp




海とみなとの相談窓口

海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと

0120-497-370

◎受付時間: 9時~12時、13時~17時(土・日・祝祭日を除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること
- …その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください。